

(一社) 日本オートケミカル工業会・全国自動車用品工業会
平成28年度合同新年賀詞交歓会

2016年(平成28年)1月13日(水) 東京グランドホテル 16:30~18:00

今年で8回目となる日本オートケミカル工業会と全国自動車用品工業会合同の賀詞交歓会が行なわれた。

冒頭、日本オートケミカル工業会の渡邊真也理事長は「今年は変化・スピード・実効性の年と改めて思う。第8回目となる「洗車の日」が今年も開催される。ご出席していただいた皆様にもご協力いただきながら、認知をもっと高めて、業界を盛り上げていきたい」と意気込みを語った。



来賓として経済産業省製造産業局化学課の和田有平課長補佐が「年始から原油の下落最安値、トルコイスタンブールのテロ事件など今年は非常に先の見えない見通しの悪い年で始まった。その中、化学課としては経済、国際競争力、標準化等で支援したい。難しいかも知れないが、是非一緒に前向きに取り組んでいきたい」と述べた。

また経済産業省製造産業局自動車課の太田保光課長補佐が「経済の好循環が進み、日本経済の好循環を進めるうえで、設備投資・研究開発・賃上げをとりおこなう事が重要である。TPPが大筋合意し部品の関税が撤廃されるが、自動車産業を前向きに意見交換・情報交換して行きたい。」と挨拶された



さらに国土交通省自動車局整備課の中村卓之課長補佐が「電気制御の車が増えている中で、汎用スキヤンツールの積極導入を図り、点検整備の確実な実施・協力・啓蒙活動に力を入れてまいります」と挨拶された。



乾杯の音頭を取ったAAALオートアフターマーケット活性化連合の住野公一代表は「これからは非常に厳しい時代、今までと同じではやっていけない。時には敵と手を組むことも必要で、顧客をしっかり見て、知恵と汗を出す努力が求められる」と挨拶。

全国自動車用品工業会の西脇保彦理事長

「世の中の変化は実感しており、小売業も激動の時代。今年はスピードとデリバリー、一方で品質が重要になる」と中締めを行った。

当会の出席者は両団体会員・来賓合わせて約130名。



以上